

## エルニーニョ監視速報の拡充

エルニーニョ／ラニーニャ現象の見通しをわかりやすくお知らせするため、「エルニーニョ監視速報」に、エルニーニョ／ラニーニャ現象の発生・持続・終息の可能性に関する確率予測表現（10%単位）を加えました。

太平洋赤道域の大気・海洋の変動であるエルニーニョ／ラニーニャ現象は、世界各地の気候に大きな影響を及ぼします。気象庁では、エルニーニョ／ラニーニャ現象等の動向を監視するとともに、同現象の実況と見通しに関する情報を「エルニーニョ監視速報」として毎月 10 日頃に発表しています。

エルニーニョ／ラニーニャ現象の見通しをわかりやすくお知らせするため、「エルニーニョ監視速報」に、エルニーニョ／ラニーニャ現象の発生・持続・終息の可能性に関する確率予測表現を加えました。これに伴い、気象庁ホームページの「エルニーニョ／ラニーニャ現象」の記載内容も変更しました。

### 変更点

1. エルニーニョ／ラニーニャ現象及び平常の状態を対象とし、これらの発生・持続・終息の可能性について、主文及び解説で 10%単位の確率を用いて表現しました（別紙①）。
2. 「エルニーニョ／ラニーニャ現象及び平常の状態についての確率予測図」（別紙②）を表紙に掲載しました。また、これまで表紙に掲載していた解説を 2 ページ目に移動し、「予測・解説資料」を 3 ページ目以降に繰り下げました。
3. 気象庁「エルニーニョ／ラニーニャ現象」のホームページの「エルニーニョ監視速報の見方」  
URL: <http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/elnino/mikata/mikata.html>  
及び「エルニーニョ／ラニーニャ現象に関する知識—よくある質問」  
URL: <http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/data/elnino/learning/faq/faq.html>  
に確率予測の項目を加えました。

なお、エルニーニョ監視速報は、気象庁ホームページの

URL: <http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/elnino/index.html>

からご覧いただけます。

本件に関するお問い合わせ先：地球環境・海洋部気候情報課

電話 03-3212-8341（内線）5134、5135

平成 28 年 8 月 10 日発表のエルニーニョ監視速報 No. 287 の表紙

平成 28 年 8 月 10 日  
気象庁 地球環境・海洋部

エルニーニョ監視速報 (No. 287)

2016 年 7 月の実況と 2016 年 8 月～2017 年 2 月の見通し

【①主文に確率予測値を掲載】

- エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態が続いているとみられる。
- 今後秋の終わりまでにラニーニャ現象が発生する可能性が高い (70%)。



図 1 エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の 5 か月移動平均値  
5 月までの経過 (観測値) を折れ線グラフで、エルニーニョ予測モデルによる予測結果 (70% の確率で入ると予想される範囲) をボックスで示している。指数が赤/青の範囲に入っている期間がエルニーニョ/ラニーニャ現象の発生期間である。

【②エルニーニョ/ラニーニャ現象及び平常の状態についての確率予測図を掲載】

エルニーニョ/ラニーニャ現象の発生確率  
(予測期間:2016 年 6 月～2016 年 12 月)

年	月	平均期間	発生確率 (%)	
2016 年	6 月	2016 年 4 月 ~ 2016 年 8 月	100	
	7 月	2016 年 5 月 ~ 2016 年 9 月	80	20
	8 月	2016 年 6 月 ~ 2016 年 10 月	40	60
	9 月	2016 年 7 月 ~ 2016 年 11 月	30	70
	10 月	2016 年 8 月 ~ 2016 年 12 月	30	70
	11 月	2016 年 9 月 ~ 2017 年 1 月	30	70
	12 月	2016 年 10 月 ~ 2017 年 2 月	30	70

■エルニーニョ現象 ■平常 ■ラニーニャ現象

図 2 5 か月移動平均値が各カテゴリー (エルニーニョ現象/平常/ラニーニャ現象) に入る確率  
エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の 5 か月移動平均値が +0.5°C 以上 / -0.4°C ~ +0.4°C / -0.5°C 以下の範囲に入る確率を、それぞれ赤/黄/青の横棒の長さで月ごとに示す。気象庁の定義では +0.5°C 以上 (-0.5°C 以下) の状態が 6 か月以上持続した場合にエルニーニョ (ラニーニャ) 現象の発生としているが、エルニーニョ監視速報においては速報性を損なわないように、原則として 1 か月でも +0.5°C 以上 (-0.5°C 以下) の状態となった場合に「エルニーニョ (ラニーニャ) 現象が発生」と表現している。